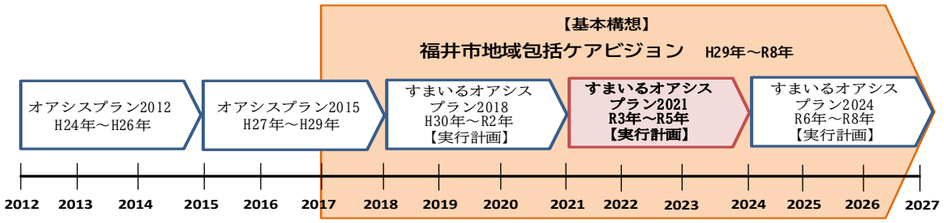
福井市 第９次老人保健福祉計画・第８期介護保険事業計画・第２期高齢者居住安定確保計画　＜すまいるオアシスプラン 2021＞（案）概要版

（福祉保健部　地域包括ケア推進課、介護保険課）

1　計画の位置づけ

○本計画は、老人福祉法の規定に基づく老人福祉事業の実施に必要な事項に加えて、高齢者の健康の増進、疾病の予防といった保健事業を取り入れた「老人保健福祉計画」と、介護保険法の規定に基づく介護サービス見込み量や介護保険事業を円滑に実施するために必要な事項などを定める「介護保険事業計画」に加え、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる住まいの実現に必要な事項などを定める「高齢者居住安定確保計画」を、一体的に策定するものです。

○本市では、地域包括ケアシステムの構築を目指し、平成 29 年度から令和 8 年度までの 10 年間を期間とした長期的な計画として、「福井市地域包括ケアビジョン」を策定しています。本計画は「福井市地域包括ケアビジョン」を基本構想とし、具体的な施策を定めた実行計画という位置づけです。



2　計画期間

令和３年（2021 年）４月１日から令和６年（2024 年）３月３１日までの３年間

3　高齢者等の状況

○　高齢者人口、高齢化率の推移及び今後の見込

	H30	R01	R02	R03	R04	R05		R07
高 齢 者 人 口(人)	75,082	75,525	76,115	76,248	76,377	76,506		76,760
高　齢　化　率(%)	28.4	28.7	29.0	29.2	29.4	29.6	～	30.0
うち後期高齢者数(人)	38,751	39,486	40,453	41,416	42,382	43,345		44,783
うち後期高齢化率(%)	14.7	15.0	15.4	15.9	16.3	16.8		17.5

※　H30～R2 は毎年度 10 月 1 日現在の実績。
※　R3 以降はコーホート変化率法（H27 年 10 月 1 日と R2 年 10 月 1 日の 2 時点の住民基本台帳による人口）を用いて推計。

○　要介護認定者数、要介護認定率の推移及び今後の見込

	H30	R01	R02	R03	R04	R05		R07
第 1 号被保険者数(人)	75,082	75,525	76,115	76,248	76,377	76,506		76,760
要介護認定者数(人)	13,596	13,851	13,798	14,100	14,332	14,565	～	15,053
要 介 護 認 定 率(%)	18.1	18.3	18.1	18.5	18.8	19.0		19.6

※　H30～R2 は毎年度 10 月 1 日現在の実績。
※　第 1 号被保険者数の R3 以降はコーホート変化率法（H27 年 10 月 1 日と R2 年 10 月 1 日の 2 時点の住民基本台帳による人口）を用いて推計。
※　要介護認定者数と要介護認定率は「地域包括ケア見える化システム」により推計

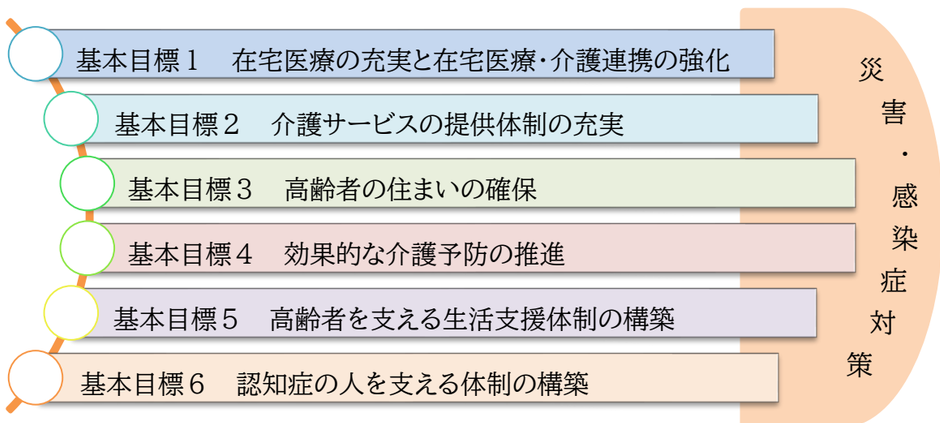
4　基本理念

～高齢者が住み慣れた地域の中で、安心して生活を送れる社会づくり～

5　計画の構成

○　本計画は、地域包括ケアシステムの構築に必要な「医療」「介護」「住まい」「介護予防」「生活支援」に「認知症施策」を加えた６つの基本目標で構成しています。

○　また、近年の災害の発生状況や、各種感染症の流行を踏まえ、継続した介護サービスが提供できるよう、関係機関と連携を図り、災害や感染症に対する備えを進めます。



6 施策体系と成果指標

高齢者が住み慣れた地域の中で、安心して生活を送れる社会づくり

基本目標	施策の方向性	成果指標	現状（R元年度末）		目標（R５年度末）
1 在宅医療の充実と在宅医療・介護連携の強化	適切な在宅医療・介護サービスの提供と多職種間の連携の推進	入退院時に医療と介護の連携を行っている人数	3,292人		4,000人
	在宅療養等に関する普及啓発	ニーズ調査で「介護・介助・医療が必要となった時、在宅での療養に不安を感じる」と答えた人の割合	48.7%		40.0%
2 介護サービスの提供体制の充実	介護サービスの整備及び地域拠点化の推進	介護サービスの整備箇所数	R元末（実績）	R2末（見込）	
		・地域密着型介護老人福祉施設（箇所数）	13	14	16
		・特定施設入居者生活介護（床数）	328	349	411
		・認知症対応型共同生活介護（ユニット数）	51	52	57
		・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（箇所数）	5	5	7
		・看護小規模多機能型居宅介護（箇所数）	8	8	10
		地域包括支援センター総合相談件数（実人数） （延べ件数）	8,145人 27,792件		8,600人 28,000件
	介護人材の確保及びサービス内容の充実	介護職員の待遇向上に取り組んでいる事業所の割合	79.0%		85.0%
3 高齢者の住まいの確保	自宅で安心して生活ができる環境の整備	日常生活圏域ニーズ調査で「既に高齢者に配慮した設備がある」と答えた人の割合（トイレの洋式化を除く）	71.2%		75.0%
	多様な住まいの提供	高齢者向け住宅の整備床数	1,422床		1,602床
4 効果的な介護予防の推進	社会参加の推進	生きがい支援事業参加者数	33,112人		34,000人
	介護予防の推進	いきいき長寿よろず茶屋設置数	36箇所		45箇所
5 高齢者を支える生活支援体制の構築	日常的な家事等の支援体制の充実	ささえあいの家で登録している介護サポーター数	53人		85人
	地域の見守り体制の充実	地域包括支援センターと民生委員が実態把握を行った人数	4,368人		4,630人
6 認知症の人を支える体制の構築	若年性認知症を含む認知症への理解を深める普及・啓発	認知症サポーター数	40,793人		55,000人
	認知症の人と介護者を支援するやさしい地域づくり	認知症の人にやさしいお店等の登録数	113		160
	早期診断・早期対応の推進と認知症の発症予防・進行抑制	あたまの元気度調査（一次チェック）実施者数	6,276人		7,500人

7 施策及び事業の一覧

基本目標１ 在宅医療の充実と**在宅医療・介護連携**の強化

1 適切な在宅医療介護サービスの提供と多職種間の連携の推進
- 多職種間の連携の推進（重点項目）
- 在宅医療・介護連携支援体制の充実
- 専門多職種によるサポート体制の充実
- 居宅療養管理指導等の在宅医療の推進
- 入退院時の円滑な情報共有、連携の強化
- 介護支援専門員等の資質向上
- 在宅医療を支える後方支援体制等の構築

2 在宅療養等に関する普及啓発
- 在宅ケアと人生会議の周知啓発

連携

基本目標２ **介護サービス**の提供体制の充実

1 介護サービスの整備及び地域拠点化の推進
- 介護サービスの整備促進（重点項目）
- 認知症への対応力強化
- 介護サービス事業所の地域拠点化の推進
- 地域包括支援センターの機能強化と地域共生社会の実現に向けた取組（重点項目）

2 介護人材の確保及びサービス内容の充実
- 介護人材の確保（重点項目）
- 介護ロボット導入等への支援
- 家族介護者への支援と利用者負担の軽減（重点項目）
- 実地指導等の強化によるサービスの質の確保と介護サービスの適正化
- ケアマネジャー等への研修機会の充実

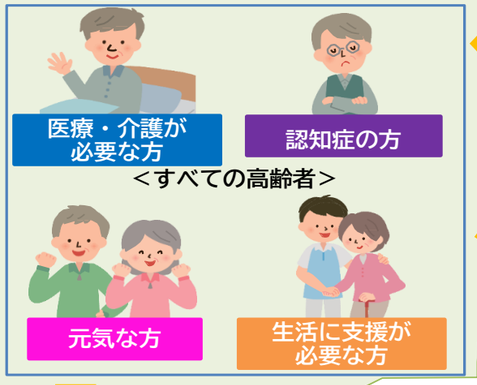
利用

基本目標６ **認知症**の人を支える体制の構築

1 若年性認知症を含む認知症への理解を深める普及・啓発
- 幅広い世代への正しい知識の普及（重点項目）
- 認知症のサポーターの活動支援
- キャラバン・メイトの育成
- 若年性認知症の支援体制構築

2 認知症の人と介護者を支援するやさしい地域づくり
- 認知症の人と家族の居場所づくり
- 地域住民や関係機関の主体的活動の推進（重点項目）
- ひとり歩きによる行方不明者が早期に発見・保護される体制づくり
- 成年後見制度の利用促進

3 早期診断・早期対応の推進と認知症の発症予防・進行抑制
- 早期の相談や受診につながる普及・啓発
- 気軽に認知機能低下をチェックできる仕組づくり
- 早期発見から早期対応につなぐ体制の整備（重点項目）
- 医療・介護従事者の認知症対応力の向上
- 発症予防と進行抑制に効果的なプログラムの提供



支援

利用

利用

支援

基本目標３ 高齢者の**住まい**の確保

1 自宅で安心して生活ができる環境の整備
- 高齢者の生活に配慮した住宅整備の促進
- 地域の見守り体制の充実【詳細は基本目標５】
- 生活支援体制の強化【詳細は基本目標５】

2 多様な住まいの提供
- 高齢者向け住宅等の供給促進
- 高齢者向け住宅の地域交流拠点化の推進
- 既存ストックを活用した高齢者向け住宅の整備促進（重点項目）
- サ高住における介護サービス利用の適正化
- 低所得高齢者等に対する住まいの確保

積極的参加

基本目標４ 効果的な**介護予防**の推進

1 社会参加の推進
- 生きがい就労等による就労機会の拡大
- シルバー人材センターにおける就労機会の拡大
- 地域活動の活性化（重点項目）
- リタイア後のセカンドライフ形成に向けた支援

2 介護予防の推進
- 心身機能の低下した高齢者の効果的な把握
- 地域の介護予防拠点の拡大及び充実（重点項目）
- 地域包括ケア「見える化」システム等の活用による地域特性に応じた介護予防
- 多様なサービスの確保
- 適切な介護予防ケアマネジメントの実施
- 介護予防活動の評価
- かかりつけ医、歯科医、薬局による健康管理の推進
- 重症化のリスクを抱えた高齢者に対する個別指導の強化

参加

基本目標５ 高齢者を支える**生活支援**体制の構築

1 日常的な家事等の支援体制の充実
- 介護予防・生活支援サービスの確保
- 生活支援コーディネーターの設置
- 住民主体のサービスの育成（重点項目）
- 介護サポーターによる在宅高齢者支援の推進
- ひとり暮らし等高齢者の家事支援の推進
- 高齢者の外出支援の推進
- 生活支援サービスの情報提供体制の整備

2 地域の見守り体制の充実
- ひとり暮らし等高齢者の実態把握
- 福祉サービスの適切な提供
- 市民ぐるみの見守り体制の構築
- 情報通信技術（ＩＣＴ）の活用
- 高齢者虐待防止の推進（重点項目）